

政治・宗教思想研究会／関西神学塾

連続講座の案内

〈交響する看取り〉のなかで —グループホームでの父の臨終の場面から—

2026年 10月23日（金）午後6時～8時

西宮公会堂 集会室

〒662-0834 西宮市南昭和町10-22

0798-67-4691

阪急西宮北口駅より 徒歩3分



み う ら こ う き ち ろ う
三浦 耕吉郎 先生



三浦 耕吉郎

1956年、山口県生まれ。

関西学院大学名誉教授。

専門は、生活史、差別問題、環境社会学、質的調査法。



参加費 500円

今回の講座では、いよいよ父の臨終のときに、焦点をあてることとなります。ただし、一般的な自然死(老衰死)のすがたを明らかにするよりは、グループホーム「わたしの家」らしい看取りのあり様の方に着目してお話しすることになります。

その理由としては、自然死での看取りが、ホームや私たち家族にとって、初めてのいわば手探り状態での体験だったということもありますが、それ以上に、父の看取りの過程で生成された「わたしの家」ならではの〈看取りの実践と知識〉のなかに、認知症の人の終末期における〈尊厳ある生〉を可能にするための条件の萌芽が見いだされるように思われるからです。

そして、それを探るうえで、本報告では、父の死後、ホームで行われた2例目と3例目の自然死での看取りとの交響的関係のなかに、改めて父の看取りを位置づけてゆくことになるでしょう。

主催：関西神学塾

協力：障害児・者情報センター

問合せ：西宮公会堂

西宮市南昭和町 10-22

TEL：0798-67-4691

MAIL：koudou@gamma.ocn.ne.jp